

「だれもが住みやすい高梁に！」 地域支援向上のための事業

特定非営利活動法人 color
理事長 川上 路代
三宅 真名

1. 目的

高梁で取り組んでいる「スクラム作戦」を多くの人に知って頂き、お互いに支え合える・サポートし合えるまちづくりを行う。

みんなが「住みやすい！」と感じられる環境を目指す。

しょうがいの有無に関わらず、お互いに支援し合えるまちづくりを目指す。

2. 課題と解決提案

1) スクラム作戦の周知

⇒スクラム作戦を地域の人に知ってもらう機会をつくる
(事業所見学ツアー・地域連携セミナー)

2) だれでもスクラムの対象に

⇒しょうがいに関わらず、何等かの支援を必要とする人たちがいることを知ってもらう
(ひきこもり支援・不登校支援研修・事業所見学ツアー)

3) みんながスクラム支援者に

⇒誰もが地域の支援者として活動できることを知ってもらう
(各ワークショップ・事業所見学ツアー・防災食事体験・地域連携セミナー)

3. 活動実績

6月 親子ふれあい遊びで工作活動(ws)

8月 なつまつりで工作活動(ws)

8月 ひきこもり支援研修会

11月 不登校支援研修会

12月 事業所見学会

12月 防災食事体験会(食事作り含む)(ws)

1月 ウィンターフェスティバルで工作活動(ws)

1月 地域連携セミナー

計
ワークショップ 4回
研修会(見学会) 4回

おやこラバー

令和5年6月3日(土) 雨天中止
午前9時45分～13時30分(受付 午前9時30分まで)
参加費: 800円(昼食のカラー代が含まれています)
集合場所: 児童発達支援センター くるーる
高梁市高倉町大瀬八長1656番地1

この日のイベントでは
下記の団体・企業様にご協力頂いています(敬称略・順不同)。
高梁消防署・高梁市社会福祉協議会・みくくち雑貨店
高梁乳産 みるく舎・高梁栄町商店街振興組合

当日の様子(写真、映像)をSNSに掲載したり、報道機関の取材を受けたりすることがあります。配慮が必要な方は個別に申し付けください。

【2023年度発達支援講習会】 FAX 0866-56-3953

『ひきこもり支援について』 ～総社市の取組と今後の課題について～

日時: 令和5年 8/26 (土) 18:00-20:00 (17:45～入場可)
in 児童発達支援センター くるーる
高梁市高倉町大瀬八長1656番地1

主催: ひきこもりサポートセンター
共催: 高梁市(予定) 後援: 岡山県保健所

場所: 高梁市図書館 4F 多目的室
岡山県高梁市旭町1306 複合施設

対象: 地域支援者の方(定員25名)
参加費: 無料

講師に総社市社会福祉協議会 ひきこもり支援センターの支援員 山口 光則氏をお迎えし、先駆的にひきこもり支援に取り組まれている総社市での活動実績や今後の課題について、事例を交えながらお話し頂きます。

【お問い合わせ】
特定非営利活動法人 color
高梁市高倉町大瀬八長1656番地1
TEL 0866-56-3946 (担当:三宅)
FAX 0866-56-3953
EML color-center@vesta.ocn.ne.jp

2023/8/25 ひきこもり研修 申込び切: 令和5年8月20日まで

【ご所属】 左のQRコードからのお申込みも可能です。

【氏名】

【連絡先】 ※日中、連絡の取れる電話番号をご記入ください。

高梁市障害福祉事業所見学ツアーのごあんない

主催: 特定非営利活動法人 color

高梁市の障害福祉事業所ではどのような活動や取り組みをしているのか、どのような方が日々どんな暮らしをしているのか、それを知っていただき、日頃の中でちょっとした助け合いができる町となるよう、この事業を取り組んでいます。是非、この機会にご参加くださいますようお願い申し上げます。

- 日時: 令和5年 12月1日(金) 09:00～14:00
- 集合場所: 児童発達支援センター くるーる 高梁市高倉町大瀬八長1656番地1
- 見学事業所(本日の予定):
 - 光榮庵(9:30～)
 - 松山のセガ(10:15～)
 - 児童発達支援センター くるーる(11:30～)
 - みずたま・きなりいろは(13:00～)
- 参加費: 1000円(昼食代、土産代として)
- ご参加の皆様へのおお願い
 - 感染対策のため、マスク着用及び手指消毒にご協力ください。
 - 当日は昼食とお土産を準備して頂きます。
 - 当日の様子を撮影し、SNSでご紹介させて頂きます。
 - 配慮が必要な方は事前にお知らせください。
 - ご利用者様の個人情報について、口外等はご遠慮ください。

※ この事業は高梁市まちづくり支援事業の助成を受けて活動しています。

みんなでいっしょに 防災食事体験

主催: 特定非営利活動法人 color
後援: 高梁市(案)

この活動に協力してくださる調理ボランティアの方と一緒に食事体験をしてくださる方を募集します。

- 日時: 令和5年 12月23日(土) 09:00～14:00
- 場所/お問合せ: 特定非営利活動法人 color (児童発達支援センター くるーる) 高梁市高倉町大瀬八長1656番地1 TEL 0866-56-3946 (担当:三宅)
- 内容: 非常食を食べてみよう。みんなでご飯(おにぎり・豚汁)を作って食べよう。
- 参加費: 無料
- 募集定員: 調理ボランティア 10名
- ご参加の皆様へのおお願い
 - 感染対策のため、マスク着用及び手洗消毒にご協力ください。
 - 当日の様子を撮影し、SNSでご紹介させて頂きます。
 - 配慮が必要な方は事前にお知らせください。
 - ご利用者様の個人情報について、口外等はご遠慮ください。
 - 提供される食事はアレルギーの対応はしていません。

この事業は高梁市まちづくり支援事業の助成を受けて活動しています。特定非営利活動法人 colorは、この活動を通して、地域の方たちと、より一歩の距離を縮めたいと目指し、イベントや研修を開催しています。

Color なつまつり

日時: 令和5年 8/26 (土) 18:00-20:00 (17:45～入場可)
in 児童発達支援センター くるーる
高梁市高倉町大瀬八長1656番地1

Welcome!

この事業内で実施するコーナーの一部はRO5年度高梁市市民課運営型まちづくり支援事業の助成を受けて実施しています。後援: 高梁市

特定非営利活動法人 color (児童発達支援センター くるーる)
高梁市高倉町大瀬八長1656番地1 TEL 0866-56-3946

発達支援講習会 不登校支援研修

FAX 0866-56-3953

主催: 特定非営利活動法人 color
後援: 高梁市 高梁市教育委員会

講師に岡山高等学院 副校長 森岡 紀文氏をお迎えし、不登校を経験した子どもへの関わりやその後の進路についてお話し頂きます。岡山高等学院は、高校中退や義務教育期間から不登校傾向だったお子さんなどが、高校卒業後の進路の取組を目指したり、さまざまな活動を経験して知識・技術を身に付けることを目指したりする教育施設です。学校での活動や取り組みを通して、不登校の支援についてお話し頂きます。

- 日時: 令和5年 11月21日(火) 14:00～16:00 (受付: 13:30)
- 場所: 高梁総合福祉センター 2F 小講座室 (高梁市社会福祉協議会 高梁市向町21-3)
- 参加費: 無料
- 定員: 20名
- 対象: 不登校支援に関わる方、又はその支援に興味のある方
- お問い合わせ: 特定非営利活動法人 color TEL 0866-56-3946 (三宅) FAX 0866-56-3953 EML color-center@vesta.ocn.ne.jp

※ この事業は高梁市まちづくり支援事業の助成を受けて活動しています。

【不登校支援研修申込用紙】 申込締切 令和5年11月15日

下記をご記入頂き、FAXか郵送でご提出いただくか、右下の二次元バーコードでお申し込みをお願いします。お電話でも受け付けています。お電話の場合は、下記内容をお尋ねしますので、よろしくお申し込みください。

氏名 []

連絡先 [] (可能限り携帯番号)

ご住所 []

当日の様子を撮影し、SNSでご紹介させて頂きます。配慮が必要な方は事前にお知らせください。

ワンタフルフェスティバル

日時: 令和6年 1月13日(土) 11:00～14:00 (10:50より会場に入れます)
場所: 児童発達支援センター くるーる 高梁市高倉町大瀬八長1656番地1

大勢のおちゃんおちゃんと一緒に、ほろほろのおもちを一緒に作ろう。

この事業内で実施するコーナーの一部はRO5年度高梁市市民課運営型まちづくり支援事業の助成を受けて実施しています。またはこの活動を通して、地域の方たちと、より一歩の距離を縮めたいと目指し、イベントや研修を開催しています。

～それぞれの「地域連携」を考える～ シンポジウム

【シンポジウム】
～高梁市の支援者として～
市民代表 丹正 さとみ 氏

【シンポジウム】
～障害のある方と地域連携について～
保護者代表 物部 文江 氏

【シンポジウム】
～一般市民の役割について～
NPO法人 color みずたま 児童発達支援管理責任者 池田 智也 (社会福祉士)

【アドバイザー】
美作大学 社会福祉学科 准教授 薬師寺 明子 氏

【コーディネーター】
NPO法人 color 理事長 川上 裕代



4. 活動実績:事業所見学ツアー



【参加者】 民生委員児童委員

【人数】 19名

【感想】

- ・ 施設のことを何も知らなかったので良い知る機会となった
- ・ 事業所のことを知る機会が増えることで、理解を得られる機会も増えると思う
- ・ 今後も機会があれば参加したい 等

5. 活動実績:防災食事体験



【参加者】大瀬八長地区の方（他）

【人数】7人

地域とつながりある法人として、交流の機会を増やしていきたいこと、また被災時には、くるーるを緊急一時避難場所として活用して頂けるよう、町内会長らと打ち合わせの場を設けていただいた。まずは一緒に防災食を食べる等の場を設けることから、ということで、一緒に豚汁とおにぎりを作り、防災食の試食をし、希望者には自宅へ配達した。参加して下さった方からは今後も協力していきたいという声が上がった。



6. 活動実績: 地域連携セミナー

地域連携セミナー

「だれかとつながる大切さとは？」

令和6年1月29日(月)

主催：特定非営利活動法人color
後援：高梁市(案)

14:00-16:00 (受付 13:30)

高梁総合文化会館2F

レクチャールーム(定員50名) 申込締切:1月20日まで

colorは、住みやすいまちづくりを目指し、高梁市市民提案型まちづくり支援事業の助成を受けて活動しています。今回の研修では、しょうがいの有無に関わらず地域に住む方たちがお互いに支え合う環境づくりを考えるため、美作大学 薬師寺明子先生をお迎えし、地域連携の大切さを学ぶとともに高梁市のサポート体制や支援機関の役割等について一緒に考えます。

1. 基調講演

美作大学 社会福祉学科
准教授 薬師寺 明子 先生
「地域の誰もが支え合える
社会になるために」



2. それぞれの視点から「地域連携」を考える シンポジウム

シンポジスト	地域代表(備中町平川)	丹正 さとみ 氏
	保護者代表	物部 文江 氏
	NPO法人color みずたま 児童発達支援管理責任者	池田 智佳
アドバイザー	美作大学 社会福祉学科 准教授	薬師寺 明子 先生
コーディネーター	NPO法人color	理事長 川上 路代

お問い合わせ) 特定非営利活動法人 color 高梁市高倉町大瀬八長1656番地1
TEL 0866-56-3946 (担当:三宅) EML color-center@vesta.ocn.ne.jp

【1/29 地域連携セミナー】 ※ 令和6年1月20日までにお申し込みください。

氏名【 (ご所属) 】
連絡先【 】
住所【 】



～それぞれの「地域連携」を考える～ シンポジウム

【シンポジスト】
～高梁市の支援体制について～
市民代表(備中町平川)
丹正 さとみ 氏

市民の一人として今、コミュニティの中で取り組んでいること、元専門職として、今だから感じることをお話し頂きます。



【シンポジスト】
～高梁市の地域連携について～
保護者代表 物部 文江 氏

障害のある方の親として、親だからできたこと、親だからやるべきこと、市や市民に期待することをお話し頂きます。



【アドバイザー】
美作大学 社会福祉学科
准教授 薬師寺 明子 氏

障害のある人が地域の中でより暮らしやすく生活していくための支援の仕組み等の研究や学生とともに障害理解のための活動にも取り組んでいます。



【シンポジスト】
～療育機関の役割について～
NPO法人 color みずたま 児童発達支援管理責任者
池田 智佳 (社会福祉士)

高梁市で子どもに対する支援をしている中で私たちが意識して取り組んでいること、専門職として地域の方と一緒に取り組んでいきたいと感じていることについてお話しします。



今回は地域連携の大切さについてご講演頂きます。

法人設立からもうすぐ18年。今回の研修会を通して、高梁市の地域力とこれからの課題について、さまざまな視点からお話をお伺いし、みなさんと一緒に今後の高梁市について考えていきます。



【コーディネーター】
NPO法人 color
理事長 川上 路代



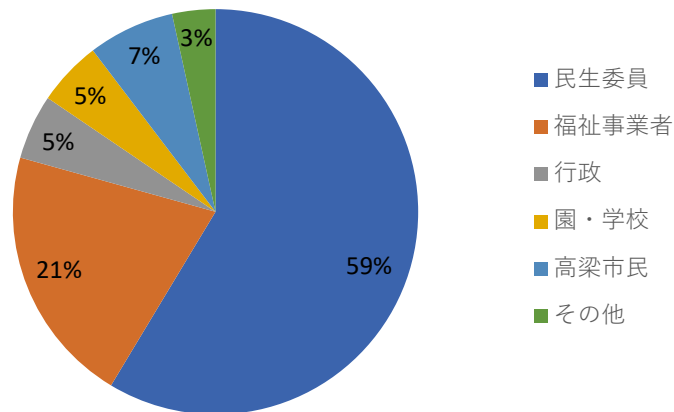
7. 活動実績:地域連携セミナー



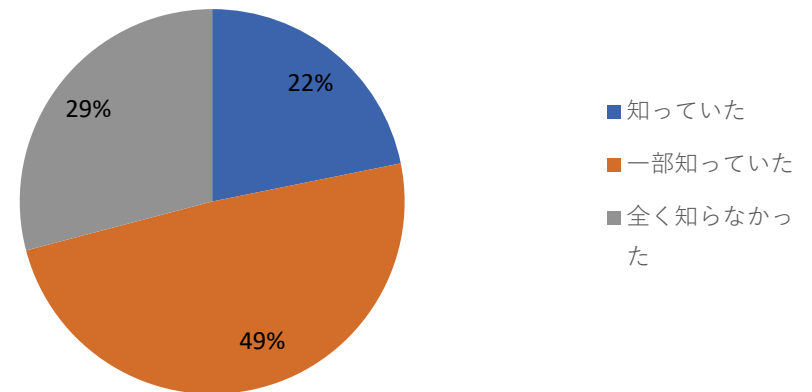
- 【参加者】 民生委員児童委員、福祉事業所関係者、地域住民等
- 【人数】 70名
- 【内容】
- ・ 基調講演『地域の誰もが支え合える社会になるために』
 - ・ colorについて（まちづくり支援事業、法人事業等の紹介）
 - ・ シンポジウム『それぞれの視点から“地域連携”を考える』
 - 丹正さんの地域での取組
 - 物部さんの保護者としての取組
 - 療育者から見る地域連携

8. 地域連携セミナー(アンケート)

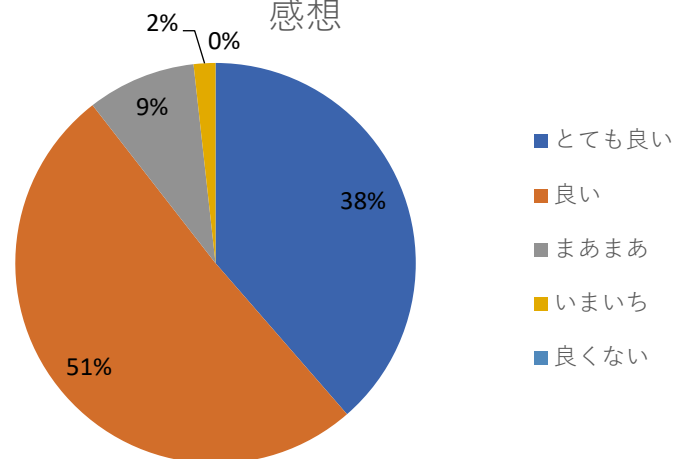
参加者内訳



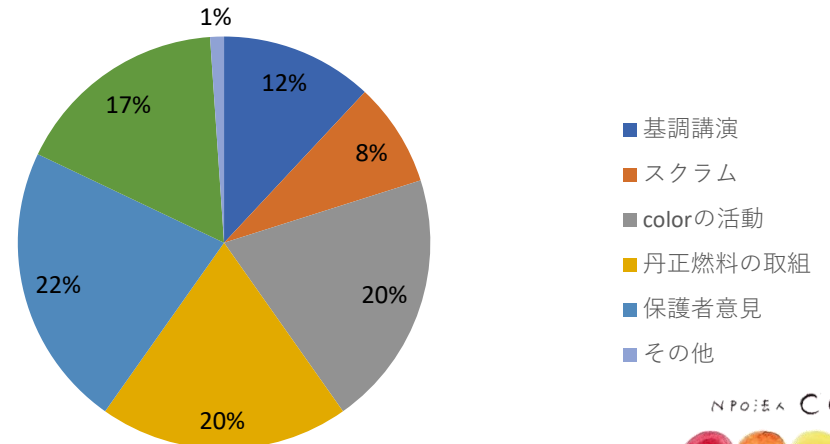
活動の認知度



感想



興味関心



9. 地域連携セミナー(アンケート)

【感想】

- ・お互いが手を差し伸べられることが地域連携につながり、私たちも小さなことから始めていきたいと思った
- ・高梁市での具体的な活動や思いがわかり、良かった
- ・福祉サービスの大切さがわかった
- ・自分に何ができるのかを考えるきっかけとなった
- ・体験談は本当に感動した
- ・生の声を聴くことができた
- ・実体験がリアルで聞いていて心が温かくなった
- ・障害の有無に関わらず、地域で暮らす上では、お互いに環境の一つとして影響し合うことがわかった
- ・普段の関わりでは、改めて、自分たちも環境因子の一端として関わっているのを知ることができた

等

10. 私たちの問題提起

支援を必要とする人に
どのようなサポートが必要なのか、
何が課題なのか、周知されていないことが多い



個人の課題ではなく、地域課題としてとらえる

まずはどの地域にもさまざまな課題があること
を専門職だけでなく、地域住民に知ってもらい、
身近な課題であること、地域の課題であることを認識し
てもらう



11. 結果

1)スクラム作戦の周知

⇒アンケート調査でも周知が不十分であることは明らかとなった。今回の活動を機に知って頂くことができたが、今後も情報提供の機会が必要。

2)だれでもスクラムの対象に

⇒しょうがいや年齢に関わらず誰もが支援を必要とする場面があることを知って頂くことができた。

3)みんながスクラム支援者に

⇒支援の専門家でなくとも、誰もが地域の支援者となり得ることを知ってもらい、各々にできることを考えてもらうことができた。

それぞれの地域課題に対して
関われるのは専門職だけではない。
地域の理解、地域の見守りが必要。

12. 今後の課題



- ① 地域の社会資源について、民生委員の方の中にも全く知らない方が多く、広報不足を感じた。情報提供に努めるとともに、お互いの役割を知っておく必要がある。
- ② 研修の場等、年配の方が多かった。これからの地域づくりを考える場では学生等にも協力をもらい、若者の意見を聞く機会も必要と感じた。

13. 今後の活動



この活動を機に民生委員、児童委員
愛育委員等の方から、色々なお声掛けを
頂く機会が増えました。

今後もできる限り、ご要望にお応えできるよう
活動を続けていきたいと思ひます。

14. さいごに

こんな街なら住んでみたい！と思える高梁市に。

制度だけでは補えないところを
地域ので。
高梁市だからこそできることを！



ご清聴ありがとうございました。